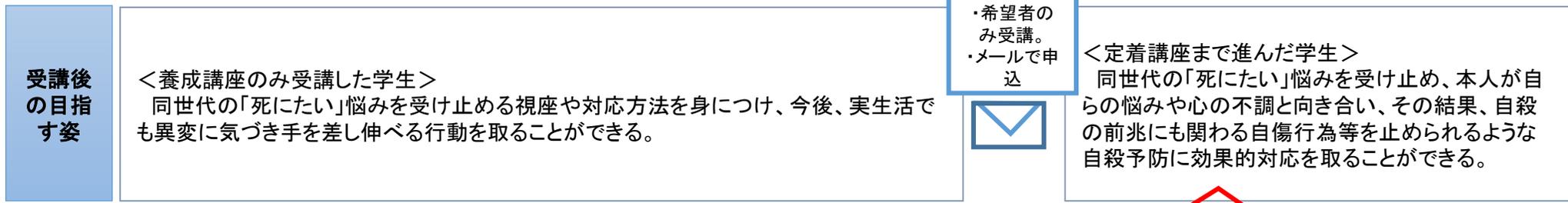
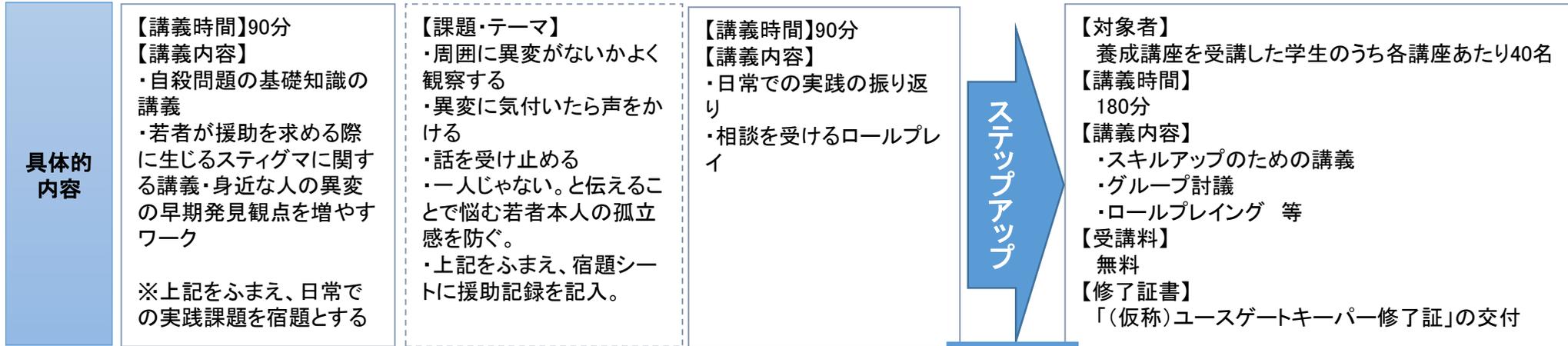
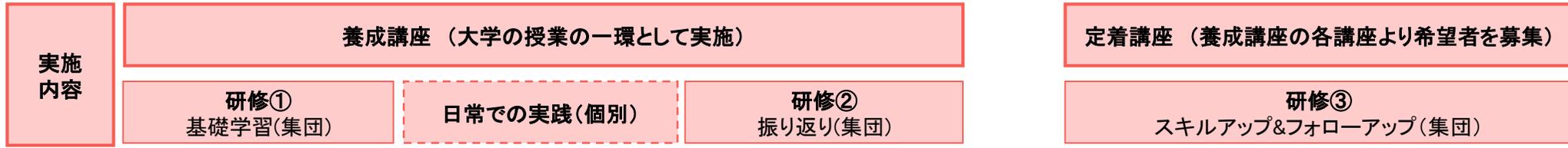


(仮称)若者自身が身近な相談者になる「ユースゲートキーパー」の育成事業(自殺対策) (資料51-1)

目的 日常生活やSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)でSOSの情報を受けることが多い若者(特に大学生)を対象に、「自分自身をセルフケアする力」「同世代の悩み相談に応える力」を育成し、若者同士が支えあう環境をつくり、若者の自殺予防を推進する。



電子メール利用時のセキュリティ対策
 ・添付ファイルへのパスワード付与
 ・講義内でインターネットの危険性に関する説明をし、受講者への意識啓発を図る

委託先パソコンのセキュリティ対策
 ・ID、パスワードの設定・認証
 ・外部からの不正アクセス対策(ファイアウォール等)
 ・ウイルス対策ソフトの導入
 ・セキュリティ更新プログラムの適用
 ・パソコン上の情報へのアクセス制御・パスワード付与

<個人情報を取り扱う部分>
 ●委託先が収集する情報項目
 ・「定着講座」受講希望者の「氏名」「メールアドレス」